

学生会だより

北海道学生会の活動

北海道学生会は、北海道大学、室蘭工業大学、北見工業大学、北海道工業大学の4大学と旭川、釧路、苫小牧、函館の4工業高等専門学校から組織されている。会員数は、2011年3月末で約360名である。

2011年7月に北海道大学で開催された第1回運営委員会で、会員校から2名の運営委員と顧問の教員が集まり、全道学生親睦会や卒業研究発表講演会などの事業計画や予算案について議論された。

1. 全道学生親睦会

2011年8月29日(月)・30日(火)に赤平市の(株)植松電機において上半期総会ならびに全道学生親睦会が開催された。全道から17名の学生と教員が参加した。上半期総会で平成23年度の活動方針についての議論と承認がなされた。総会に引き続き、ペーパークラフトCAMUIロケットの製作を行った(図1)。夕食はバーベキューで、焼肉セットとビールサーバを地元の精肉業者に手配していただいた。植松電機の植松専務も参加してくださり、学生時代の話や聞くなど非常に盛会となった(図2)。夕食後、エルム高原温泉「ゆったり」で汗を流した。懇親会では、研究テーマや研究室



図1 ペーパークラフトCAMUIロケットの製作



図2 全道学生親睦会での夕食

生活の話から、それぞれの居住地の話まで幅広い交流が行われた。植松専務の話に多数の学生が興味深く耳を傾け、夜遅くまで活発な議論が交わされた。2日目は朝食後、各部屋を清掃し、社員の方と共にラジオ体操を行った。体操後、植松専務の特別講演会「思うは招く〜「どーせ無理」から「だったらこうしてみたら!へ」」が行われた。教育の話やものづくりの話など、非常に濃密な内容で参加者は真剣に聞き入っていた。質疑応答も活発に行われた。特別講演会の後は、植松電機の主力製品である工業用電磁石や微小重力実験塔、CAMUIロケットモータ燃焼実験の見学を行った(図3)。最後に、製作したペーパークラフトCAMUIロケットの打上げを行った。ロケットは約100mほど上昇し、打上げのつど歓声が上がった。

2. メカライフの世界展

2011年度メカライフの世界展が



図3 工業用電磁石のデモンストレーション

北海道工業大学と苫小牧工業高等専門学校で開催された。

北海道工業大学では小中高校生にレスキューロボットの操作体験をしてもらった。2日間で合計100名程度の参加および見学があった。参加された小中高校生や父母の皆さんは担当学生の説明を聞きながら真剣にロボットを操作するなど、工学の一端に興味を持って触れてくれた様子であった(図4)。

苫小牧工業高等専門学校では、①工作機械の展示・実演と学生作品の紹介、②金属の引張試験および電子顕微鏡観察の体験、③機械工学科研究室見学、④ロボットテクノロジー部製作の歩行ロボットの展示が行われた。2日間で約150名の来場者があった。

3. 卒業研究発表講演会

第41回北海道学生会卒業研究発表講演会が北海道大学で開催された。170編の研究論文が発表され、参加登録者は261名だった。卒業研究発表講演会と同時に特別講演会が開催された。講師は、北海道大学教授但野茂先生を迎え、「骨の病気とバイオメカニクス」と題して講演がなされた。卒業研究発表講演会後にベストプレゼンテーション賞の発表と懇親会が開催され、100名を超える参加者が出席した。2012年度は、旭川工業高等専門学校で開催が予定されている。

(北海道大学 大学院工学研究院 戸谷 剛)



図4 メカライフの世界展(北海道工業大学)